



# 至誠

勝田第三中学校 学校だより 第34号

令和8年3月24日(火)発行

文責:校長 川上徹行



勝田三中HP

## 令和7年度修了、新年度に向け自分の「夢・目標」をより明確に！！

今日で今年度が修了となりました。中学校3年間で見ると、1年生は3分の1が、2年生は3分の2がそれぞれ修了しました。「光陰矢の如し」とのことわざどおり、時のたつのはあっという間です。通信票の評価、各自の振り返りなどから課題を洗い出し、次の目標をよりはっきりとさせる。そして自分の可能性を信じて、努力を継続し、「夢」に近づいてほしいと願っています。



夢を叶える方程式…「想いの強さ」 × 「あきらめない努力」 = “無限の可能性”

子供たちの健やかな成長のために、今後も保護者並びに関係者の皆様の応援やサポートを、よろしく願いいたします。

(以下の生徒が代表として発表しました。)

・「一年生を振り返って」…1年〇組 W さん

・「後期を振り返って」…2年〇組 S さん

※ 発表内容につきましては、本日発行の学年だよりをご覧ください。

私からは以下のような内容を式辞として伝えました。

3月になり暖かい日が増えてきましたが、今年も1月の寒さが厳しかったためか、正門そばの桜はまだつぼみのままです。しかし、4月の皆さんの進級に合わせるように、桜も咲こうとしているように感じます。暦の上だけでなく、季節は確実に春へと向かっています。

今日で今年度も修了です。皆さんにとって、進級という節目の日でもあります。先ほど、代表の二人が一年間の振り返りと抱負を発表してくれました。皆さんも授業や家庭学習、学校行事、部活動など、さまざまなことに意欲的に取り組んできたことでしょう。校外学習やスキー宿泊学習、仲間と力を合わせて挑んだ総体や新人戦、コンクールなど、一つ一つが貴重な経験となりました。また、体育祭や合唱祭、学級レクなど、自分たちで創り上げた行事や日常の出来事も、よい思い出として心に残っていることでしょう。このような多くのミッションを通して、皆さんは確かな学びを積み重ねてきました。

さて、今年度の締めくくりとして、皆さんにもう一度伝えたいことがあります。卒業生にも話した「**2つのものの見方**」です。人と比べて自分を見る**相対的な見方**と、自分の中の基準で考える**絶対的な見方**です。絶対的なものの見方を通して、昨日の自分と比べてどうか、自分の信じる価値基準に照らしてどうか、と考える習慣を身に付けてほしいと思います。そうすることで物事の本質が見え、自分の判断の土台となる「**自分の軸**」が育っていきます。

皆さんはキャリア学習などを通して、「**自分はこれからどう生きていきたいか**」を考えてきましたね。この「**なりたい自分**」を意識しながら、「**自分是可以る**」「**やればできる**」と信じ、目標に向かって一歩ずつ進んでください。前向きで解決志向的な考え方を大切にし、よりよい未来を切り拓いてほしいと願っています。今後も、保護者や私たち教師、地域の方々が皆さんを応援し続けます。生き生きと一人一人が輝く「**夢と感動**」のある学校を、これからも共に創り上げていきましょう。

### 【式中や修了証授与、振り返りと抱負発表での生徒たちの様子】

